



拜啓 新春、武徳会の皆様、益々の御健勝お慶び申し上げます。
 「武士の心」の題で書く様にとのこと。浅学の小生・・・困ります。
 「正月や死出の旅路の一里塚 目出たくもあり目出たくもなし」小生九十二歳、まさに一里塚です。

一里塚を横に見て、頑張ってみましょう。
 小生は英信流。他の流派のことは知りません。
 前に座っている相手（立っている場合も）が刀に手をかけ、鯉口を切りました。相手が鯉口を切ると同時に相手を斬り倒します。これが技です。稽古です。

この技を身につけていれば、いつの場合も悠然としていられます。少し秘伝を申しますと、原動力は手ではありません。ヒジです。居合の稽古とは、この様な技も稽古するのです。刀を振り回すだけが稽古ではありません。
 腰の構え（居合腰）すら、知らない方が多々あります。斬るのは物打ち、自然な円を描いて斬り下ろします。

自然に相手の下腹あたりで剣先が離れます。血振るい納刀です。

感謝根源尊道統

以直心従自然理法

根源に感謝し道統を尊び

直なおな心で自然の理法にしたがう

これが心です。

了



第三回社員総会に於いて（平成二十八年二月八日）

総裁 東伏見慈晃 祝下

代表 濱田鉄心先生より思い掛けない武徳会最高の特別功労賞を授与され、感謝・感激に打ちふるえました。又立命館大学グリークラブ